

令和5年度 宮崎森林管理署都城支署 公共工事契約状況

令和5年10月27日

分任支出負担行為担当官
宮崎森林管理署都城支署長 塚本 徹

工 事 名		施 工 場 所		工事種別	工事概要	入札方式
権現治山工事		宮崎県都城市吉之元町地内		治山工事	木製校倉式床固工 個数 1.0個 数量 128.3m3	一般競争入札 (総合評価落札方式)
予定価格 (税抜き)	調査基準価格 (税抜き)	契約年月日		契約相手方の商号又は名称及び住所		
39,495,000円	35,614,320円	令和5年10月26日		宮崎県都城市中原町27-5 株式会社 財部組		
契約金額 (税抜き)	工事着手の時期	工事完成の時期				
39,000,000円	令和5年11月	令和6年3月				

○予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第73条の規定に基づく競争参加資格

別添「入札公告」のとおり

○競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由

別紙「競争参加資格確認結果書」（別添1）のとおり

○入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額

別紙「入札執行調書」（別添2）のとおり

○予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳

別紙「工事積算内訳書」（別添3）のとおり

入札公告（森林土木工事）（総合評価落札方式）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和5年9月25日

分任支出負担行為担当官

宮崎森林管理署 都城支署長 塚本 徹

1 工事概要

- (1) 工 事 名 権現治山工事
- (2) 工事場所 宮崎県都城市吉之元町地内
- (3) 工事内容 木製校倉式床固工 1基 128.3m³ 外
- (4) 工期 契約締結日の翌日から令和6年3月22日まで
（工期は、「4週8休」を標準として設定）
令和5年11月24日（工事着手期限）までに工事を開始すること。
- (5) 本工事は、総合評価落札方式（簡易型）における提出資料の簡素化（技術提案の施工計画の省略）や技術審査・評価の効率化を図り、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する工事である。
- (6) 本工事は、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の工事である。
- (7) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
- (9) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
- (10) 本工事は、週休2日を促進するため、現場閉所による週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。

契約締結後、工事着手前に週休 2 日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成 10 年 3 月 31 日付け 10 林野管第 31 号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休 2 日の取組実績証明書」を発行する。なお、現場閉所が 4 週 8 休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。

(11) 本工事は、令和 5 年 3 月 1 日以降の労務単価を適用した工事である。

詳しくは九州森林管理局ホームページ

https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327

を参照すること。

(12) 本工事は、令和 4 年度積算基準に基づくものであるが、令和 5 年 3 月 29 日に「令和 5 年 4 月から適用する森林整備保全事業設計積算要領等に係る取扱いについて」（令和 5 年 3 月 29 日付け 4 林整計第 868 号林野庁森林整備部計画課長通知）が通知されたことを踏まえ、工事の発注者又は受注者は、国有林野事業工事請負契約約款第 63 条の規定に基づき、次の方式により算出された請負代金額等に変更する協議を行うことができるものとする。

変更後の請負代金額等 = $P_{\text{新}} \times k$

この式において、「 $P_{\text{新}}$ 」及び「 k 」は、それぞれ以下を表すものとする。

$P_{\text{新}}$ ：新積算基準により積算された予定価格に相当する額（単価は入札書の受付開始の日のもの）

k ：当初契約の落札率

(13) 本工事は、ICT 技術の活用を図るため、受注者の希望により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する ICT 活用工事の対象工事（施工者希望型）である。

2 競争参加資格

(1) 「予算決算及び会計令」（昭和 22 年勅令第 165 号）第 70 条及び第 71 条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第 70 条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 九州森林管理局における土木一式工事に係る A、B 又は C 等級の一般競争参加資格の認定を受けていること。（「会社更生法」（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。

(3) 「会社更生法」に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再確認を受けた者を除く。）でないこと。

(4) 平成 20 年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が 20%以上の場合のものに限る。）。

なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成 10 年 3 月 31 日付け 10 林野管第 31 号林野庁長官通知）第 4 の 3 に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が 65 点未満のものを除く。

経常建設共同企業体にあつては、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- ・ 森林土木工事：① 治山関係事業における溪間工事及び山腹工事
② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③ 林道規定に定める自動車道 2 級以上に相当する作業道の新設工事
のうち①が該当する工事

(5) 「建設業法」（昭和 24 年法律第 100 号）に基づく「主任技術者又は監理技術者」（以下「主任（監理）技術者」という。）の配置については、次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を配置できること。

① 技術士（建設部門又は森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）、2 級土木施工管理技士、2 級建設機械施工技士又は林業技士（森林土木部門に限る。）以上の資格を有する者であること。

② 平成 20 年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期（余裕期間は除く）のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が 65 点未満のものを除く。

ア 主任（監理）技術者

イ 主任（監理）技術者の下で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか 2 以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③ 林道規程に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
のうち、いずれかの工事

- ③ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

ただし、監理技術者の行うべき職務を補佐する者として、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者等を除く基準をすべて満たす者を当該工事現場に専任で配置する場合は、2現場を限度として兼務できることとする。

なお、主任技術者の専任に係る取り扱いについては、工作物に一体性若しくは連続性のある工事又は施工にあたり相互に調整を必要とする工事で、かつ、工事の施工管理区域間隔が10km程度又は移動時間60分程度の接近した場所において、同一の建設業者が施工する場合には、建設業法施行令第27条第2項が適用できるものとする。

この場合において、主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事について、原則3件程度とする。（監理技術者には適用しない）

- (6) 競争参加資格確認申請書、競争参加資格確認資料及び総合評価資料（以下「申請書等」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知。以下「工事請負契約指名停止等措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去2年間（令和3年4月1日から令和5年3月31日まで）に完成した工事で工事成績評定を受けた工事がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。
- (8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。

(10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

(11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にすることはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記2に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書等の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和5年9月26日から令和5年10月10日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時までとする。
なお、最終日の令和5年10月10日は15時までとする。
- ② 提出先：〒885-0035 宮崎県都城市立野町3655-1
宮崎森林管理署都城支署 総務グループ
電話 0986-23-4566
- ③ その他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又はFAXによるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書等は入札説明書により作成すること。

(4) 上記(2)に規定する期限までに申請書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去2年間（令和3年4月1日から令和5年3月31日まで）に完成した工事で森林管理局長等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書（写）の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の2回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点を記載した上で「〇〇森林管理（局、（支）署）令和〇〇年〇〇月〇〇日入札の〇〇工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。（入札説明書を参照のこと）

4 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は次の方法により落札者を決定する方式とする。

- ② 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点100点を付与する。
- ② 上記3(1)の総合評価資料により示された実績等により最大30点の加算点及び最大30点の施工体制評価点を付与する。
- ③ 付与された標準点、加算点及び施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。
その評価項目等の概要は、次に示すとおりとするが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

(2) 評価項目

評価項目は、次に示すとおりである。

- ① 施工能力等に関する事項
 - ② 信頼性・社会性に関する事項
 - ③ 施工体制（品質確保の実効性、施工体制確保の確実性）に関する事項
- なお、①及び②の項目で最大30点の加算点、③の項目で最大30点の施工体制評価点とする。

(3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に加算点を加えた点数をその入札価格で除して得られる評価値（ $\text{評価値} = \{ (\text{標準点} + \text{加算点} + \text{施工体制評価点}) / (\text{入札価格}) \}$ ）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価

格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件をすべて満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- ① 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- ② 評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

5 入札手続等

(1) 担当部局

〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3655-1
宮崎森林管理署都城支署 総務グループ
電話 0986-23-4566
メールアドレス：E-mail:ky_miyakonojyou@maff.go.jp

(2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間において電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和5年9月26日から令和5年10月23日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3655-1
宮崎森林管理署都城支署 総務グループ
電話 0986-23-4566
- ③ 図面類は閲覧によること。
- ③ 配布資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和5年10月24日 13時25分。
- ② 紙入札方式により入札の締切りは、令和5年10月24日 13時25分とし、宮崎森林管理署都城支署 入札室において入札。
- ③ 開札は、令和5年10月24日 13時30分に、宮崎森林管理署都城支署入札室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

6 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金 免除

② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行（都城代理店））。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和 27 年法律第 184 号）第 2 条第 4 項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 宮崎森林管理署都城支署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第 1 回の入札に際し、第 1 回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

この場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第 1 第 1 項の規定に基づく指名停止又は第 10 の規定に基づく書面若しくは口頭での警告若しくは注意の喚起を行うことがある。

(5) 配置予定主任（監理）技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム（CORINS）」等により配置予定の主任（監理）技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任（監理）技術者の変更は認めない。

(6) 低入札価格調査を受けた者と契約する場合は、建設業法の定めにより配置する技術者とは別に 2 の(5)に定める要件と同一の要件を満たす技術者を専任で 1 名現場に配置することとする。

(7) 契約書作成の要否

作成を要する。

(8) 関連情報を入手するための照会窓口

上記 5(1)に同じ。

(9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記 2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記 3(2)により申請書等を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(10) 申請書等の内容のヒアリング

原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(11) 施工体制確認のためのヒアリング

施工体制確認のためのヒアリングを実施するとともに、その際、追加資料の提出を求めることがある。

(12) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（平成 16 年 7 月 林野庁）による。

(13) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードされたい。

詳しくは当森林管理局のホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html

を確認すること。

なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とする。

(14) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」（平成 19 年農林水産省訓令第 22 号）第 10 条及び第 11 条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規定第 9 条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。

（不当な働きかけ）

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査

基準価格に関する情報聴取

- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>

を確認すること。

- (15) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

(別添1)

競争参加資格確認結果通知書

- 1 工 事 名 : 権現治山工事
- 2 所属事務所 : 宮崎森林管理署 都城支署
- 3 入札公告日 : 令和5年9月25日
- 4 競争参加資格確認結果通知期限日 : 令和5年10月11日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
株式会社 財部組 代表取締役 財部 千鶴子	有	

(備考)

- 1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載すること。
- 2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加する者に必要な資格に関する事項」のどの事項に満たさなかったのかを記載すること。

(別添2)

入札執行調書

調達案件番号(第003807012020230009号)		調達案件名称				権現治山工事						
業者名称	技術評価点					入札第1回			入札第2回			備考
	総計	標準点	技術提案加算点 換算加算点 (小計)	企業評価	施工体制評価点	金額	評価値	順位	金額	評価値	順位	
(株)財部組	154	100	24	24	30	40,000,000			39,000,000	39.487	1	落札

(注)上記金額は、入札者が見積もった金額の110分の100に相当する金額である。

入札執行月日 令和05年10月24日

開札結果は上記の金額の通り相違ありません。

執行官 塚本 徹 ✓

立会・確認職員 宮川 茂則 ✓

江藤 幸二 ✓

~~宮川 茂則~~

明 細 表

1	No.1木製校倉式床固工	点在A						
コートNo	(構造) L=25.0m H=2.62m V=128.3m3	(森林管理署名) 宮崎森林管理署	(事務所名) 都城支署	メインブロック 宮崎 64		サブブロック 都城10 535		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
73	[体 積]		128.30	m3	0	0		
7001	砂質・粘性・礫質土床堀	コンクリート床固・護岸(BH0.8)	317.90	m ³	1,273	404,686		
7002	礫質土埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	130.00	m3	1,688	219,440		
7003	人力掘削面整形	粘性土・礫質土	62.60	m2	530	33,178		
7006	木製校倉式床固工	L=25.0m H=2.62m V=128.3m3	128.30	m3	44,934	5,765,032		
7008	木製校倉式間詰(右岸)	L=2.50m H=3.17m A=5.79m2 V=6.95m3	7.00	m3	46,164	323,148		
7009	木製校倉式間詰(左岸)	L=3.00m H=2.90m A=9.09m2 V=9.09m3	9.10	m3	46,206	420,474		
7012	木製柵間詰(右岸)	□45*45 L=3.00m H=1.50m ΣL=7.50m	7.50	m	13,674	102,555		
7013	木製柵間詰(左岸)	□45*45 L=3.00m H=1.50m ΣL=7.50m	7.50	m	13,674	102,555		
7023	堤名板	金属板B型(550mm*400mm*12mm)	1.00	個	52,476	52,476		
7014	実播工	人力播種緑化 20kg(種子・肥料・土壌改良材入り)	44.80	m2	138	6,182		
7015	植生ネット工(肥料袋有)	二重ネット袋付	1.10	m2	1,974	2,171		
頁 計						7,431,897		
計						7,431,000		
割出単価						57,918		
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		1,164,701		
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		245,721		
	金額計の内	形成材料				5,622,763		
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			10,286		

明 細 表

2	No.1木製校倉式護岸工	点在A						
コードNo	(構造) L=97.6m H=2.1m V=207.9m ³	(森林管理署名) 宮崎森林管理署	(事務所名) 都城支署	メインブロック 宮崎 64		サブブロック 都城10 535		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
73	[体 積]		207.90	m ³	0	0		
7001	砂質・粘性・礫質土床堀	コンクリート床固・護岸(BH0.8)	369.10	m ³	1,273	469,864		
7002	礫質土埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	60.70	m ³	1,688	102,461		
7024	盛土	1m≦W1<4m(最大埋戻幅1m以上4m未満)	14.60	m ³	1,688	24,644		
7003	人力掘削面整形	粘性土・礫質土	127.90	m ²	530	67,787		
7017	木製校倉式護岸工	L=97.60m H=2.10m A=207.94m V=207.94m ³	207.90	m ³	45,626	9,485,645		
7021	No.1木製柵流路工	□45*45 L=12.00m H=1.50m ΣL=72.00m	72.00	m	15,333	1,103,976		
7022	No.2木製柵流路工	□45*45 L=6.75m H=1.50m ΣL=51.75m	51.80	m	15,158	785,184		
頁 計						12,039,561		
計						[12039561]	12,039,000	
割出単価						57,907		
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				2,164,777		
	金額計の内	労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				352,308		
	金額計の内	形成材料				9,095,933		
	金額計の内	機械賃料 週休2日補正係数(1.04)				8,918		

明 細 表

3	仮設工	点在A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		宮崎森林管理署	都城支署	宮崎	64	都城10	535
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施工々種]		4.00	工種	0	0	
7025	水替工	土のう締切(一列)	18.00	m2	11,251	202,518	
7026	水替工	ポンプ排水(6~30未満)揚程10m以下【100mm】	10.20	日	6,629	67,615	
7027	水替ポンプ据付撤去	水替工(小口径)(口径100mm)	1.00	箇所	49,667	49,667	
7028	水替工	呼径300(水替工:塩ビ管設置撤去用)	250.00	m	5,899	1,474,750	
頁 計						1,794,550	
計						[1794550]	1,794,000
割出単価						448,500	
(備考)	金額計の内 労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)					1,228,280	
	金額計の内 労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)					8,640	
	金額計の内 形成材料					516,202	
	金額計の内 機械賃料 週休2日補正係数(1.04)					20,678	

明 細 表

○ 1# 点在A ▼

4	間接工事費 共通仮設費	支給品費・無償貸付機械評価額	処分費等・飛行経費	鋼桁・門扉工場原価・別途製作する構設柱			
(構造)	T 直接工事費(+)	21,264,000	o 適用諸経費率		1 治山地すべり工事		
	A 積上仮設費等(+)	0	a 原定率共通仮設費率(%)		11.24		
	S 対象額算定組込経費(+)		b 施工地域補正係数		1.0		
	H 対象額算定除外経費(-)		c 週休2日補正係数		1.04		
	P 定率仮設費算定対象額	21,264,000	d 採用仮設費率 a * b * c		11.69		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計 (A積み上げ仮設費)		0			0	
3062	雨量計	転倒樹型隔測自記雨量計	204.00	日	292	59,568	
	定率現場環境改善費	(T + S) * 1.34 %	1.00	式		284,000	
	小計 (B積み上げ仮設費)		343568			343,000	
	定率共通仮設費	P * 11.69 %	1.00	式		2,485,000	
	計					2,828,000	
(備考)	(参考)金額計の内労務費の金額			0 %割増		0	

明 細 表

○ 1# 点在A

5	間接工事費 現場管理費	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																					
	(構造)	宮崎森林管理署	都城支署	64	535	宮崎																																																																																																																																					
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																					
	現 場 管 理 費		1.0	式	-	8,950,000																																																																																																																																					
	計					8,950,000																																																																																																																																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">A 直接工事費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">21,264,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>B 純工事費</td> <td>(A + 共仮費)</td> <td style="text-align: right;">24,092,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C 飛行費</td> <td>(処分費等一部含)</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>D 現場管理費算定対象額</td> <td>(B - C)</td> <td style="text-align: right;">24,092,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>E 現場管理費率</td> <td>(Dで算定)</td> <td style="text-align: right;">35.05 %</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">1 治山地すべり工事</td> </tr> <tr> <td>F 施工時期補正 設定工期</td> <td>(標準工期)</td> <td style="text-align: right;">日</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">(224 日)</td> </tr> <tr> <td>G 冬期期間内工期</td> <td></td> <td style="text-align: right;">日</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>H 級地区分補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>I 冬期率(I'年度内工期率)</td> <td>(G/F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0 %</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">(零国の場合年度内工期率と読替)</td> </tr> <tr> <td>J 冬期補正率</td> <td>(H * I / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>K 真夏日</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0 日</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>L 真夏日率</td> <td>(K / F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>M 熱中症対策補正率</td> <td>(L * 1.2 / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>N 施工地域補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>O 週休2日補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.06</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>P 補正現場管理費率</td> <td>(E * N + (J + M)) * C</td> <td style="text-align: right;">37.15 %</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">(J + Mの最大は2.0%)</td> </tr> <tr> <td>Q 算定現場管理費</td> <td>(D * P / 100)</td> <td style="text-align: right;">8,950,178 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>R 端数切捨額</td> <td>(千円止)</td> <td style="text-align: right;">-178 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>S 現場管理費</td> <td>(Q + R)</td> <td style="text-align: right;">8,950,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>							A 直接工事費		21,264,000 円					B 純工事費	(A + 共仮費)	24,092,000 円					C 飛行費	(処分費等一部含)	円					D 現場管理費算定対象額	(B - C)	24,092,000 円					E 現場管理費率	(Dで算定)	35.05 %	1 治山地すべり工事				F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日	(224 日)				G 冬期期間内工期		日					H 級地区分補正係数		0.00					I 冬期率(I'年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %	(零国の場合年度内工期率と読替)				J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %					K 真夏日		0 日					L 真夏日率	(K / F * 100)	0 %					M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %					N 施工地域補正係数		1.00					O 週休2日補正係数		1.06					P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * C	37.15 %	(J + Mの最大は2.0%)				Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	8,950,178 円					R 端数切捨額	(千円止)	-178 円					S 現場管理費	(Q + R)	8,950,000 円				
A 直接工事費		21,264,000 円																																																																																																																																									
B 純工事費	(A + 共仮費)	24,092,000 円																																																																																																																																									
C 飛行費	(処分費等一部含)	円																																																																																																																																									
D 現場管理費算定対象額	(B - C)	24,092,000 円																																																																																																																																									
E 現場管理費率	(Dで算定)	35.05 %	1 治山地すべり工事																																																																																																																																								
F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日	(224 日)																																																																																																																																								
G 冬期期間内工期		日																																																																																																																																									
H 級地区分補正係数		0.00																																																																																																																																									
I 冬期率(I'年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %	(零国の場合年度内工期率と読替)																																																																																																																																								
J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
K 真夏日		0 日																																																																																																																																									
L 真夏日率	(K / F * 100)	0 %																																																																																																																																									
M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
N 施工地域補正係数		1.00																																																																																																																																									
O 週休2日補正係数		1.06																																																																																																																																									
P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * C	37.15 %	(J + Mの最大は2.0%)																																																																																																																																								
Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	8,950,178 円																																																																																																																																									
R 端数切捨額	(千円止)	-178 円																																																																																																																																									
S 現場管理費	(Q + R)	8,950,000 円																																																																																																																																									
備考																																																																																																																																											

明 細 表

6	一 般 管 理 費 等																																										
(構造) 計算内容は下記参照		(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																					
		宮崎森林管理署	都城支署	64	535	宮崎																																					
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																					
	一 般 管 理 費 等		1.0	式	-																																						
	計																																										
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">○ 工事原価</td> <td style="width: 30%;">点在A</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">33,042,000</td> </tr> <tr><td colspan="7"> </td></tr> <tr> <td>A</td> <td>一般管理費等算定対象額 (支給品・飛行費で補正)</td> <td style="text-align: right;">33,042,000</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>一般管理費等率 (Aで算定)</td> <td style="text-align: right;">19.49</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>補正係数</td> <td style="text-align: right;">1.00</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>補正一般管理費等率 (B * C)</td> <td style="text-align: right;">19.49</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>率部一般管理費等額 (A * D / 100)</td> <td style="text-align: right;">6,439,886</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>契約保証補正值</td> <td style="text-align: right;">0.04 %</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>契約保証補正額 (A * F / 100)</td> <td style="text-align: right;">13,216</td> </tr> <tr> <td>H</td> <td>算定一般管理費等 (E + G)</td> <td style="text-align: right;">6,453,102</td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>採用一般管理費等 (千円止)</td> <td style="text-align: right;">6,453,000</td> </tr> </table>							○ 工事原価	点在A	33,042,000								A	一般管理費等算定対象額 (支給品・飛行費で補正)	33,042,000	B	一般管理費等率 (Aで算定)	19.49	C	補正係数	1.00	D	補正一般管理費等率 (B * C)	19.49	E	率部一般管理費等額 (A * D / 100)	6,439,886	F	契約保証補正值	0.04 %	G	契約保証補正額 (A * F / 100)	13,216	H	算定一般管理費等 (E + G)	6,453,102	I	採用一般管理費等 (千円止)	6,453,000
○ 工事原価	点在A	33,042,000																																									
A	一般管理費等算定対象額 (支給品・飛行費で補正)	33,042,000																																									
B	一般管理費等率 (Aで算定)	19.49																																									
C	補正係数	1.00																																									
D	補正一般管理費等率 (B * C)	19.49																																									
E	率部一般管理費等額 (A * D / 100)	6,439,886																																									
F	契約保証補正值	0.04 %																																									
G	契約保証補正額 (A * F / 100)	13,216																																									
H	算定一般管理費等 (E + G)	6,453,102																																									
I	採用一般管理費等 (千円止)	6,453,000																																									
備考 支給品費は、直工または共通仮設費に組み込まれている場合に限る。																																											

割 増 単 価 表

7001 砂質・粘性・礫質土床掘		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治局11-2-3	コンクリート床固・護岸(BH0.8)	宮崎	64	都城10	535	1 m ³	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5790	掘削積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.8BH 地山 山地治山B 溪間工	1.000	m3	388	388	
6063	埋戻工【C】	1m≦W1<4m (最大埋戻幅1m以上4m未満)	0.400	m3	1,688	675	
5812	ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.8BH ルーズ 山地治山B 溪間工	0.200	m3	349	70	埋戻(締固無)
5812	ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.8BH ルーズ 山地治山B 溪間工	0.400	m3	349	140	排土
計		週休:4週8休以上				1,273	
		単 価			1.0 m ³ 当り	1,273	
		単価の内労務費の金額				759	
		単価の内形成材料の金額				42	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7002 礫質土埋戻し		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
施工P-019-3	最大埋戻幅1m以上4m未満	宮崎	64	都城10	535	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8004	埋戻し(C)	施工パッケージ単価計算参照	1.000	m3	1,688	1,688	
計		週休:4週8休以上				1,688	
		単 価		1.0 m3当り		1,688	
		単価の内労務費の金額				1,356	
		単価の内形成材料の金額				106	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7003 人力掘削面整形		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) 治1-3-1 粘性土・礫質土	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.400	人	27,405	10,962	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	2.300	人	18,270	42,021	
計		週休:4週8休以上				52,983	
		単 価		1.0 m2当り		530	
		単価の内労務費の金額				530	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7004 木製校倉式床固工 組立・中詰			宮崎森林管理署 都城支署				
コードNo	(構造) BH=0.8 中詰材 栗石	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	10 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.200	人	27,405	5,481	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	2.600	人	18,270	47,502	
4036	バックホウ運転経費	第2次基準値 山積0.80m3[0.60m3]割増 0%	1.300	時間	11,004	14,305	
4081	バックホウ運転経費[クレーン付]	山積0.8m3[0.6m3]2.9t吊(クローラ型)	0.900	時間	11,304	10,174	
計		週休:4週8休以上				77,462	
		単 価			1.0 m3当り	7,746	
		単価の内労務費の金額				6,193	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7005 吸出防止材		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) t=10mm	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1022	吸出防止材 [ヤシ繊維系]	t=10mm (68)	1.000	m2	440	440	
計		週休:4週8休以上				440	
		単 価		1.0 m2当り		440	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				440	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7006 木製校倉式床固工			宮崎森林管理署 都城支署				
コードNo	(構造) L=25.0m H=2.62m V=128.3m ³	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	128.3 m ³	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7004	木製校倉式床固工 組立・中詰	BH=0.8 中詰材 栗石	128.300	m ³	7,746	993,812	
3701	高耐久処理木材	φ120	19.300	m ³	202,000	3,898,600	
3706	割栗石	50mm~150mm	107.800	m ³	6,233	671,917	
3702	コーチホルト	M12 180mm 溶融亜鉛	278.000	本	300	83,400	
3703	コーチホルト	M12 270mm 溶融亜鉛	32.000	本	440	14,080	
3704	コーチホルト	M12 270mm ステンレス	37.000	本	1,750	64,750	
3705	四角穴付ツピンねじ	L 150	856.000	本	45	38,520	
計		週休:4週8休以上			5,765,079		
		単 価	1.0 m ³ 当り		44,934		
		単価の内労務費の金額			6,193		
		単価の内形成材料の金額			37,188		
[摘要]							

割 増 単 価 表

7007 木製校倉式間詰 組立・中詰		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) BH=0.45 中詰材 栗石	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	10 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.430	人	27,405	11,784	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	3.530	人	18,270	64,493	
4033	バックホウ運転経費	山積0.45m3[0.35m3]割増 0%	2.310	時間	8,112	18,739	
計		週休:4週8休以上			95,016		
		単 価	1.0 m3当り		9,502		
		単価の内労務費の金額			8,567		
		単価の内形成材料の金額			0		
[摘要]							

割 増 単 価 表

7008 木製校倉式間詰(右岸)			宮崎森林管理署 都城支署				
コードNo	(構造) L=2.50m H=3.17m A=5.79m ² V=6.95m ³	メインブロック		サブブロック		作成単位 7 m ³	
		宮崎	64	都城10	535		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7007	木製校倉式間詰 組立・中詰	BH=0.45 中詰材 栗石	7.000	m ³	9,502	66,514	
3708	高耐久処理木材	φ90	1.000	m ³	210,000	210,000	
3706	割栗石	50mm~150mm	5.400	m ³	6,233	33,658	
7005	吸出防止材	t=10mm	14.400	m ²	440	6,336	
3707	コーチホルト	M9 125mm 溶融亜鉛	4.000	本	130	520	
3705	四角穴付タッピンねじ	L 150	136.000	本	45	6,120	
計						週休:4週8休以上	323,148
						単 価	1.0 m ³ 当り
						単価の内労務費の金額	8,567
						単価の内形成材料の金額	36,662
[摘要]							

割 増 単 価 表

7010 木製柵間詰 組立・中詰		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) BH=0.45 中詰材 栗石	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.090	人	27,405	2,466	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.340	人	18,270	6,212	
4033	バックホウ運転経費	山積0.45m3[0.35m3]割増 0%	0.810	時間	8,112	6,571	
計		週休:4週8休以上			15,249		
		単 価	1.0 m当り		1,525		
		単価の内労務費の金額			1,197		
		単価の内形成材料の金額			0		
[摘要]							

割 増 単 価 表

7011 スペーサー 設置・固定		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	100 個	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*	24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.140	人	27,405	3,837
*	2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.690	人	18,270	12,606
	1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	1.000	%	16,443	164
	3709	スペーサー	□45*L150~200mm 100個	1.000	箱	150	150
計		週休:4週8休以上					16,757
		単 価			1.0 個当り		168
		単価の内労務費の金額					164
		単価の内形成材料の金額					2
[摘要]							

割 増 単 価 表

7012 木製柵間詰(右岸)		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) □45*45 L=3.00m H=1.50m ΣL=7.50m	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	7.5 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7010	木製柵間詰 組立・中詰	BH=0.45 中詰材 栗石	7.500	m	1,525	11,438	
2881	木製柵	□45×45 L=1.5mH=495mmW=750mm	4.000	基	13,000	52,000	
2882	木製柵	□45×45 L=0.75mH=495mmW=750mm	2.000	基	10,000	20,000	
7011	スパーサー 設置・固定		10.000	個	168	1,680	
3706	割栗石	50mm~150mm	2.000	m3	6,233	12,466	
7005	吸出防止材	t=10mm	11.300	m2	440	4,972	
計		週休:4週8休以上				102,556	
		単 価		1.0 m当り		13,674	
		単価の内労務費の金額				1,416	
		単価の内形成材料の金額				11,928	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7013 木製柵間詰(左岸)		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	□45*45 L=3.00m H=1.50m ΣL=7.50m	宮崎	64	都城10	535	7.5 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7010	木製柵間詰 組立・中詰	BH=0.45 中詰材 栗石	7.500	m	1,525	11,438	
2881	木製柵	□45×45 L=1.5mH=495mmW=750mm	4.000	基	13,000	52,000	
2882	木製柵	□45×45 L=0.75mH=495mmW=750mm	2.000	基	10,000	20,000	
7011	スパーサー 設置・固定		10.000	個	168	1,680	
3706	割栗石	50mm~150mm	2.000	m3	6,233	12,466	
7005	吸出防止材	t=10mm	11.300	m2	440	4,972	
計		週休: 4週8休以上				102,556	
		単 価	1.0 m当り			13,674	
		単価の内労務費の金額				1,416	
		単価の内形成材料の金額				11,928	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7014 実播工		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治局5-4-6	人力播種緑化 20kg(種子・肥料・土壌改良材入り)	宮崎	64	都城10	535	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.100	人	18,270	1,827	
2850	手まき用種子	20kg袋(100m2用)(種子・肥料・土壌改良材入り)	100.000	m2	120	12,000	
計		週休:4週8休以上			13,827		
		単 価	1.0 m2当り		138		
		単価の内労務費の金額			18		
		単価の内形成材料の金額			120		
[摘要]							

割 増 単 価 表

7016 木製校倉式護岸工 組立・中詰			宮崎森林管理署 都城支署				
コードNo	(構造) BH=0.45 中詰材 栗石	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	10 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.430	人	27,405	11,784	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	3.530	人	18,270	64,493	
4033	バックホウ運転経費	山積0.45m3[0.35m3]割増 0%	2.310	時間	8,112	18,739	
計		週休:4週8休以上			95,016		
		単 価	1.0 m3当り		9,502		
		単価の内労務費の金額			8,567		
		単価の内形成材料の金額			0		
[摘要]							

割 増 単 価 表

7017 木製校倉式護岸工			宮崎森林管理署 都城支署				
コードNo	(構造) L=97.60m H=2.10m A=207.94m V=207.94m ³	メインブロック			サブブロック		作成単位
		宮崎	64	都城10	535	207.9 m ³	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7016	木製校倉式護岸工 組立・中詰	BH=0.45 中詰材 栗石	207.900	m ³	9,502	1,975,466	
3708	高耐久処理木材	φ 90	29.100	m ³	210,000	6,111,000	
3706	割栗石	50mm~150mm	160.100	m ³	6,233	997,903	
7005	吸出防止材	t=10mm	473.400	m ²	440	208,296	
3707	コーキホルト	M9 125mm 溶融亜鉛	71.000	本	130	9,230	
3705	四角穴付タピンねじ	L 150	4085.000	本	45	183,825	
計		週休:4週8休以上				9,485,720	
		単 価			1.0 m ³ 当り	45,626	
		単価の内労務費の金額				8,567	
		単価の内形成材料の金額				36,124	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7018 木製柵流路工 組立・中詰		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) BH=0.45 中詰材 栗石	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.090	人	27,405	2,466	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.340	人	18,270	6,212	
4033	バックホウ運転経費	山積0.45m3[0.35m3]割増 0%	0.810	時間	8,112	6,571	
計		週休:4週8休以上				15,249	
		単 価			1.0 m当り	1,525	
		単価の内労務費の金額				1,197	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7019 天端材 設置・固定		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	10 枚	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.030	人	27,405	822	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.140	人	18,270	2,558	
計		週休:4週8休以上				3,380	
		単 価		1.0 枚当り		338	
		単価の内労務費の金額				338	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7020 コーチホルト留		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	100本	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.320	人	27,405	8,770	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	1.280	人	18,270	23,386	
計		週休:4週8休以上				32,156	
		単 価		1.0 本当り		322	
		単価の内労務費の金額				322	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7021 No.1木製柰流路工		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) □45*45 L=12.00m H=1.50m ΣL=72.00m	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	72 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7018	木製柰流路工 組立・中詰	BH=0.45 中詰材 栗石	72.000	m	1,525	109,800	
2881	木製柰	□45×45 L=1.5mH=495mmW=750mm	44.000	基	13,000	572,000	
2882	木製柰	□45×45 L=0.75mH=495mmW=750mm	8.000	基	10,000	80,000	
3711	天端材	L=1.50m	42.000	枚	1,693	71,106	
3712	天端材	L=0.75m	12.000	枚	1,050	12,600	
7019	天端材 設置・固定		54.000	枚	338	18,252	
7011	スペーサー 設置・固定		94.000	個	168	15,792	
3706	割栗石	50mm~150mm	19.400	m3	6,233	120,920	
7005	吸出防止材	t=10mm	84.600	m2	440	37,224	
3710	コーチホルト	M8 75mm 溶融亜鉛	150.000	本	120	18,000	
7020	コーチホルト留		150.000	本	322	48,300	
計						1,103,994	
					週休:4週8休以上		
					単 価	1.0 m当り	15,333
					単価の内労務費の金額		2,335
					単価の内形成材料の金額		12,667
[摘要]							

割 増 単 価 表

7022	No.2木製枠流路工	宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	□45*45 L=6.75m H=1.50m Σ L=51.75m	宮崎	64	都城10	535	51.8 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7018	木製枠流路工 組立・中詰	BH=0.45 中詰材 栗石	51.800	m	1,525	78,995	
2881	木製枠	□45 × 45 L=1.5mH=495mmW=750mm	32.000	基	13,000	416,000	
2882	木製枠	□45 × 45 L=0.75mH=495mmW=750mm	5.000	基	10,000	50,000	
3711	天端材	L=1.50m	30.000	枚	1,693	50,790	
3712	天端材	L=0.75m	6.000	枚	1,050	6,300	
7019	天端材 設置・固定		36.000	枚	338	12,168	
7011	スペーサー 設置・固定		66.000	個	168	11,088	
3706	割栗石	50mm~150mm	14.000	m3	6,233	87,262	
7005	吸出防止材	t=10mm	62.500	m2	440	27,500	
3710	コーキホルト	M8 75mm 溶融亜鉛	102.000	本	120	12,240	
7020	コーキホルト留		102.000	本	322	32,844	
	計	週休:4週8休以上				785,187	
		単 価		1.0 m当り		15,158	
		単価の内労務費の金額				2,275	
		単価の内形成材料の金額				12,553	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7023 堤名板		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治局3-6	金属板B型(550mm*400mm*12mm)	宮崎	64	都城10	535	1個	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.070	人	27,405	1,918	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.140	人	18,270	2,558	
2972	堤名板	B金属板 550*400*12mm	1.000	個	48,000	48,000	
計		週休:4週8休以上				52,476	
		単 価		1.0 個当り		52,476	
		単価の内労務費の金額				4,476	
		単価の内形成材料の金額				48,000	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7024 盛土		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造) 1m≦W1<4m(最大埋戻幅1m以上4m未満)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	都城10	535	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8004	埋戻し(C)	施工パッケージ単価計算参照	1.000	m3	1,688	1,688	
計		週休:4週8休以上				1,688	
		単 価		1.0 m3当り		1,688	
		単価の内労務費の金額				1,356	
		単価の内形成材料の金額				106	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7025 水替工		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治局8-2-3	土のう締切(一列)	宮崎	64	都城10	535	10 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和5年3月労賃	6.000	人	18,270	109,620	
978	土のう(仮締切用)	62×48cm (PE)	170.000	枚	17	2,890	
計		週休:4週8休以上				112,510	
		単 価		1.0 m2当り		11,251	
		単価の内労務費の金額				10,962	
		単価の内形成材料の金額				289	
[摘要] 土のう拵え積立で取除き1式 別途978,979土のう170袋等加算							

割 増 単 価 表

7026 水替工		宮崎森林管理署 都城支署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共8-4-2	ポンプ排水(6~30未満)揚程10m以下【100mm】	宮崎	64	都城10	535	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 1	特殊作業員	令和5年3月労賃	0.140	人	24,675	3,455	
* 4302	発動発電機運転(作業・6~30m3/h未満)	ディーゼル 5KVA 水替工(小口径)用	1.000	日	2,571	2,571	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	10.000	%	6,026	603	
計		週休:4週8休以上				6,629	
		単 価		1.0 日当り		6,629	
		単価の内労務費の金額				3,455	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7027 水替ポンプ据付撤去			宮崎森林管理署 都城支署				
コードNo	(構造)	メインブロック	サブブロック		作成単位		
			宮崎	64	都城10	535	1箇所
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共8-4-2	水替工(小口径)(口径100mm)						
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.500	人	27,405	13,703	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	1.000	人	18,270	18,270	
6358	バックホリ運転[クレーン付](小口径ポンプ据付・撤去)	山積0.8m3 小口径ポンプ据付・撤去用 吊2.9t	0.500	日	35,388	17,694	
計		週休:4週8休以上				49,667	
		単 価			1.0 箇所当り	49,667	
		単価の内労務費の金額				40,613	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
埋戻し(C)	m3	1,802.90	1,910.00	8004	施工パ-020-3	
条件区分						
施工方法	最大埋戻幅1m以上4m未満					
土質	-					
締固めの有無	-					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	12.40	
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)				10.62	18,400 17,800
K2	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t			*	1.68	1,560 1,955
K3	タンパ及びびランマ 質量60~80kg			*	0.10	471 632
R(労務)					82.89	
R1	普通作業員				51.56	21,600 21,376
R2	特殊作業員				22.60	24,700 28,870
R3	運転手(特殊)				8.73	24,600 28,459
R4	-				-	
Z(材料)					4.71	
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油				4.61	115 143
Z2	ガソリン レギュラー スタンド				0.10	131 157
Z3	-				-	
Z4	-				-	
S(市場単価)	-				-	
計算式						
$\begin{aligned} \text{積算単価} = & 1,802.90 \times \left\{ \left(\frac{10.62}{100} \times \frac{17,800}{18,400} + \frac{1.68}{100} \times \frac{1,955}{1,560} + \frac{0.10}{100} \times \frac{632}{471} \right) \times \frac{12.40}{10.62 + 1.68 + 0.10} \right. \\ & + \left(\frac{51.56}{100} \times \frac{21,376}{21,600} + \frac{22.60}{100} \times \frac{28,870}{24,700} + \frac{8.73}{100} \times \frac{28,459}{24,600} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{82.89}{51.56 + 22.60 + 8.73 + 0} \\ & + \left(\frac{4.61}{100} \times \frac{143}{115} + \frac{0.10}{100} \times \frac{157}{131} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{4.71}{4.61 + 0.10 + 0 + 0} \\ & \left. + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 12.40 + \frac{0}{100} \times 82.89 + \frac{0}{100} \times 4.71 + \frac{0.00}{0.00} \right\} \\ \text{積算単価} = & 1,910.00 \end{aligned}$						
週休:4週8休以上 労務補正:12% 冬期補正:5%						